

## 組合員資格確認のお願い

当JAの定款の規定によりまして、組合員の皆様は、住所・氏名・団体代表者等JAへ届出事項に変更があったとき、又は組合員資格を失ったときや資格の変動があったときは、その旨を書面にて届け出ていただくことになっております。

このような場合には当JA本所または各事業所へお届けいただきますようお願いいたします。

ご不明な点は本所（管理部）または各事業所へお問い合わせください。

---

### 当JAの組合員資格（定款第12条の抜粋）

---

#### （組合員の資格）

第12条 この組合の組合員は、正組合員及び准組合員とする。

- ② 次に掲げる者は、この組合の正組合員となることができる。
  1. 1ヘクタール以上の土地を耕作する農民で、その耕作する土地又は住所がこの組合の地区内にあるもの
  2. 1年のうち150日以上農業に従事する農民で、その住所がこの組合の地区内にあるもの
  3. 農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が3億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの
- ③ 次に掲げるものは、この組合の准組合員となることができる。
  1. この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの
  2. この組合から第7条第1項第2号から第4号まで又は第14号の事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
  3. この組合から第7条第1項第4号、第12号又は第21号の事業に係る物資の供給又は役務の提供を継続して受けているこの組合の地区外に住所を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの
  4. この組合の地区の全部又は一部を地区とする農業協同組合
  5. 農業経営基盤強化促進法第23条第1項の認定を受けた農用地利用

規程で定めるところに従い農用地利用改善事業を行う団体（その農用地利用改善事業の実施区域の全部又は一部がこの組合の地区内にある団体であつて、前項第 1 号又は第 2 号に該当する正組合員（同項第 1 号に該当する正組合員にあつては、その住所がこの組合の地区内にある者に限る。）が主たる構成員となっているものに限る。以下「農用地利用改善事業実施団体」という。）であつて、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの（前項第 3 号及び前号に掲げるものを除く。）

6. 農事組合法人等この組合の地区内に住所を有する第 2 項第 1 号又は第 2 号に掲げる者が主たる構成員となっている団体で協同組織のもとに当該構成員の共同の利益を増進することを目的とするものその他この組合又はこの組合の地区内に住所を有する同項第 1 号又は第 2 号に掲げる者が主たる構成員又は出資者となっている団体であつて、この組合の施設を利用することが適当であると認められるもの（前項第 3 号及び前 2 号に掲げる者を除く。）

（農用地利用改善事業実施団体の構成員に係る組合員資格の特例）

第 12 条の 2 農業経営基盤強化促進法第 19 条の規定による公告があつた農用地利用集積計画の定めるところによって利用権を設定したことにより前条第 2 項第 1 号又は第 2 号に該当しなくなつて者であつて、同項第 3 号又は同条第 3 項第 4 号若しくは第 5 号に該当する組合員である農用地利用改善事業実施団体の構成員であるもののうち、当該利用権の設定前に又は設定後遅滞なくこの組合に申出をし、理事会において次の各号に掲げる要件に該当する者である旨の確認を受けたものは、引き続きこの組合の正組合員とする。

1. その住所がこの組合の地区内にある者であること又はその住所が別に定める地区内にある者であつて、この組合の施設（農業に必要な施設に限る。）を利用することが適当であると認められるものであること。
2. 利用権を設定した土地の全部又は一部がその者が構成員となっている農用地利用改善事業実施団体の農用地利用規程において定める農用地利用改善事業の実施区域（この組合の地区内に限る。）の地区内にあること。
3. 第 12 条第 2 項各号に該当する正組合員と協同してその農業の生産能率を高め、経済状態を改善し、社会的地位の向上に貢献すると認められる者であること。